

- 石川県中能登町（鹿島中部クリーンセンター）では、下水汚泥と食品廃棄物等を混合処理し、下水汚泥肥料「なかのとバイオの恵」を製造。

■ 肥料の種類・肥料名称

- ・ 下水汚泥肥料（なかのとバイオの恵）

■ 国内資源の種類

- ・ 下水汚泥
- ・ 事業系生ごみ
- ・ 集落排水汚泥
- ・ し尿浄化槽汚泥



■ 使用作物

- ・ 家庭菜園用（花・野菜等）

■ 取組の経緯・内容・成果（見込み）

取組の経緯

- ・ 2010年に石川県と金沢大学においてメタン発酵の研究が開始され、下水汚泥の提供について問い合わせを受けて連携したことが始まり。

取組の内容

- ・ 2015年に中能登町下水道事業として、下水汚泥、事業系生ごみ、集落排水汚泥等をメタン発酵施設で混合処理し、メタン発酵後の汚泥は肥料として、町民等へ無料配布している。

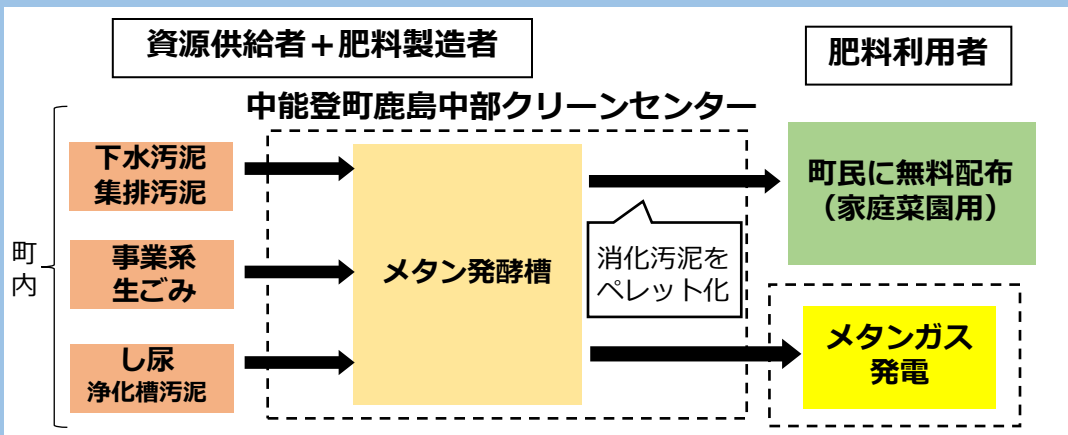
成果（見込み）

- ・ 昨今の肥料高騰に少しでも貢献できるよう新たな取り組みを検討する。
- ・ 汚泥肥料の利用を通じた地元での資源循環の確立。

〈汚泥肥料の供給〉

→約7割（110t）は町民へ無料配布。残りの3割（46t）は汚泥処理業者で処分。

■ 主たる取組主体と肥料利用までの流れ



■ 今後の課題・取組

◆ 利用拡大

→施肥方法についてチラシにてわかりやすく周知。

◆ 汚泥肥料供給

→現状、製造の7割は町民に無料配布し、残りの3割は処分。
現在、処分している肥料を販売に切り替えることを検討。

